

経営比較分析表（令和元年度決算）

香川県坂出市 坂出駅北口地下駐車場

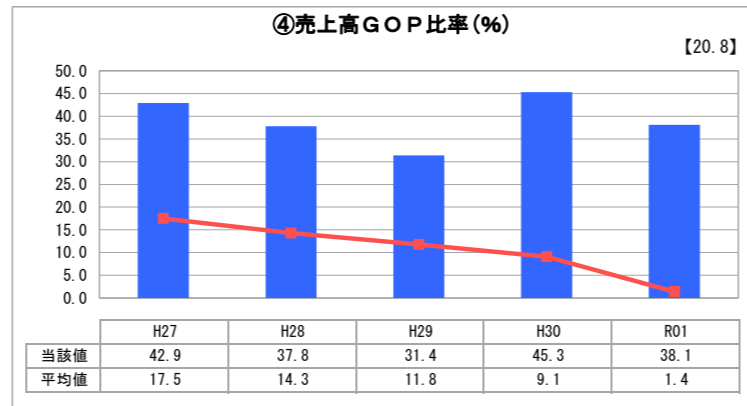
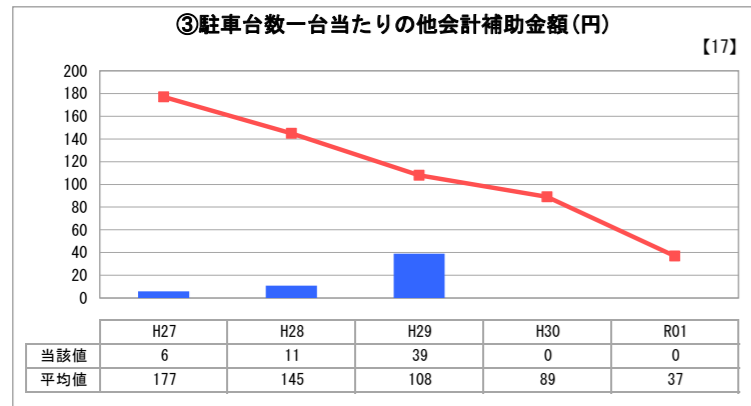
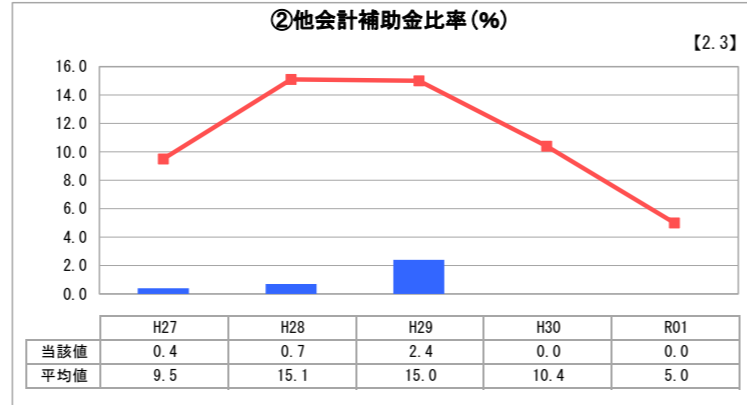
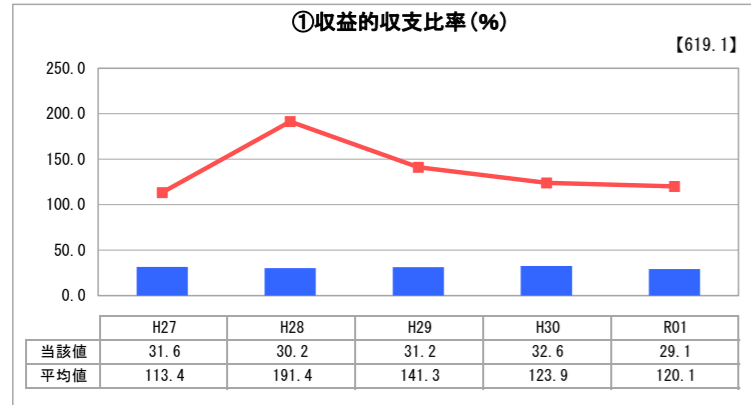
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式	19	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	5,247
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
126	200	導入なし

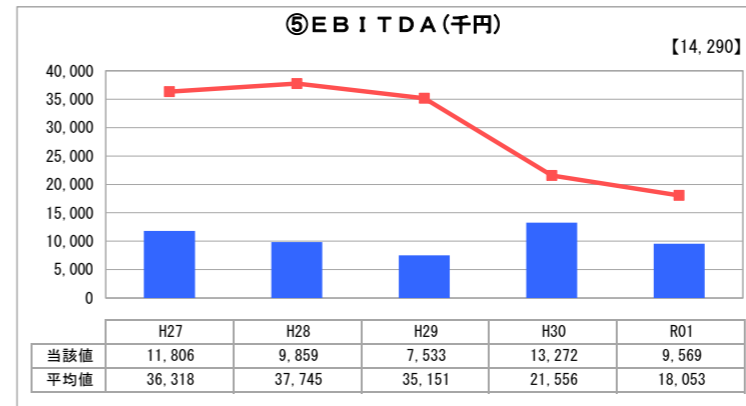
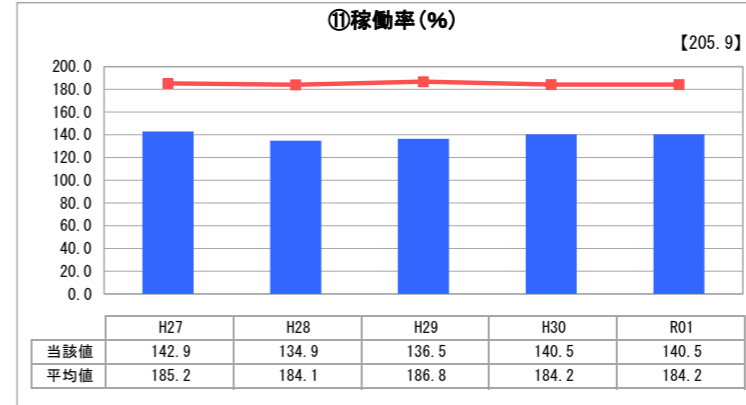
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

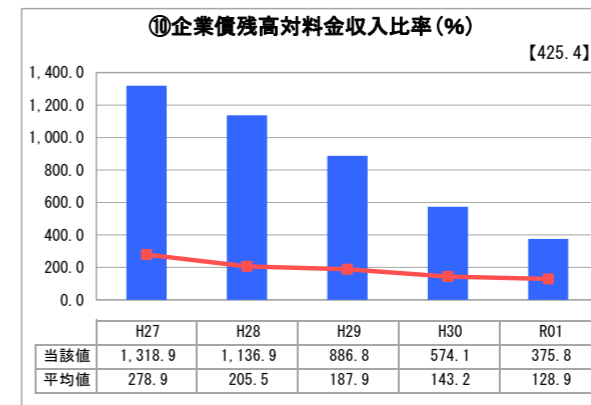


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率の数値が100%未満のため、赤字経営となっています。これは施設の建設費に伴う地方債償還金額が大きく、営業収益だけでは賄いきれていないからです。地方債償還金はR4年度まで残っているため、今後もしばらくの間、厳しい経営状況が続くと思われるので、経費削減等に努めていきます。
 ④売上高GOP比率と⑤EBITDAについては、R1年度はH30年度より数値が低下し、経営状況が悪化しました。この要因として、H30年度は西日本豪雨の影響によりJR予讃線間で一部運行休止が生じ、駐車場の利用者が増加・料金収入が増えた一方で、R1年度は平年並みの料金収入に下がったことが原因です。

2. 資産等の状況について
 建設から19年が経過し、耐用年数を超えてきた機器等が出てきたため、優先度の高い機器から順次更新・修繕を実施していきます。
 ⑩企業債残高対料金収入比率については、前年度に引き続き数値が減少しております。これは借入を行わず、償還のみを行っていることから、企業債残高が減少したためです。しかしながら依然として平均値よりも高いため、設備更新の財源を含め経営改善に努めていきます。

3. 利用の状況について
 R1年度はH30年度と⑩稼働率は横ばいでありましたが、依然として平均値より大幅に低くなっています。その要因として、当該駐車場の周辺に最大料金が半額程度の民間駐車場があることと、長期間利用者が多いことが考えられます。
 稼働率を向上するために、最大料金を周辺の駐車場と同額まで値下げをすることが考えられますが、値下げをすることでかえって長期間利用を誘発し、稼働率の向上に繋がるとは言えません。
 稼働率の向上については、駐車料金だけでなく、利用者の動向や施設の需要も視野に入れて慎重に検討していく必要があります。

全体総括
 地方債償還金がR4年度まで残っていることや、R2年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う利用者の減少が懸念されており、今後は更なる厳しい経営状況が予想されます。経費削減等の地道な努力や、近隣の駐車場や利用者の動向等、周囲を取り巻く環境を把握し、収益の増加あるいは確保に努めていく必要があります。
 当該駐車場は、駅周辺の都市機能の強化を図るとともに、渋滞の緩和及び交通事故防止を目的に設置されているため、本来の目的を見失わないよう、経営を努めていきます。
 また今後は、R2年度末策定予定の経営戦略の投資・財政計画（収支計画）をベースに、経済情勢を考慮しつつ経営を進めていきます。